

第五次総合計画の施策評価について

平成30年3月26日（月）
企画部 企画調整課

1 第五次総合計画策定の背景（課題）

◆生産年齢人口の減少

⇒ 税収（収入）の減少

⇒ 地域経済の縮小

◆高齢化（人・都市）の進展

⇒ 社会保障費（支出）の増大

⇒ 公共施設・インフラの維持・更新費の増大

2 取組（対応策）

◆生産年齢人口の維持

⇒ 若い世代の移住・定住促進，転出抑制

◆社会保障費の抑制

⇒ 健康寿命の延伸

⇒ 長寿社会のまちづくり

◆交流人口の増加

⇒ 地域資源を活かしたまちづくり

3 将来都市像・重点目標

将来都市像 未来へつづく先進住環境都市・柏
～笑顔と元気が輪となり広がる交流拠点～

重点目標

- 1 充実した教育が実感でき、子どもを安心して産み育てられるまち
- 2 健康寿命を延ばし、いつまでもいきいきと暮らせるまち
- 3 地域の魅力や特性を活かし、人が集う活力あふれるまち

施策体系の7つの分野

1 こども未来

学ぶ意欲と学ぶ習慣が身につく教育の推進
子どもの育ちや子育てを支える環境づくり

2 健康・サポート

健康の保持・増進
高齢者等のニーズに応じた支援

3 経済・活力

賑わいのあるまちづくり
魅力ある産業の創出

4 地域のちから

コミュニティの活性化
文化・スポーツ等の推進

5 環境・社会基盤

住環境の整備
社会基盤の形成・維持

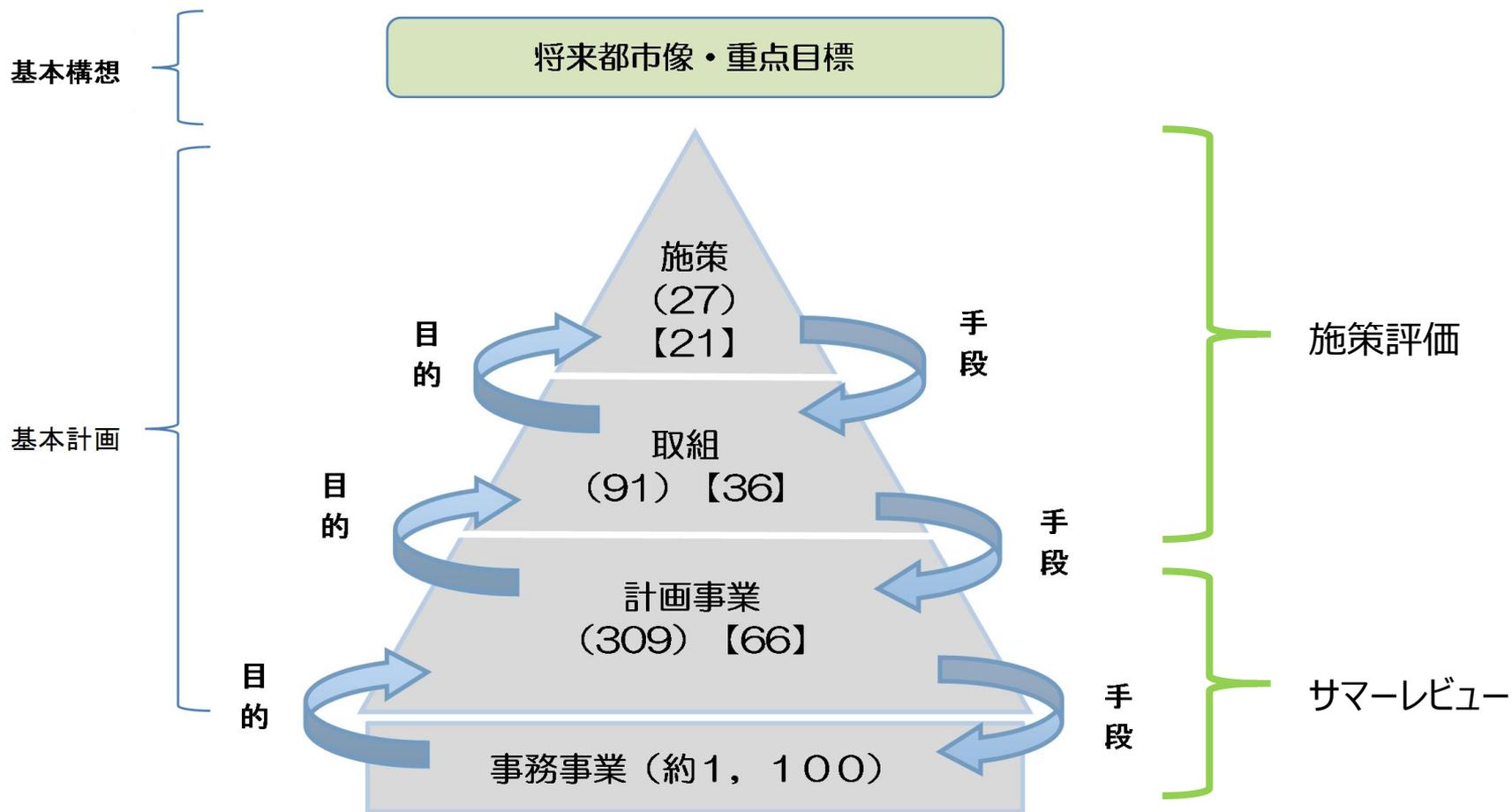
6 安全・安心

災害等に強い安全なまちづくり
犯罪等を防ぐ安心なまちづくり

7 マネジメント

持続可能な行政経営
公共施設等の最適化

4 施策体系



※ 【】 は重点の数

平成29年度に実施したサマーレビューの結果、**48**の事務事業を最重点事業に設定

5 総合計画の進捗管理

◆サマリーレビュー（毎年度）

- 計画（事務）事業の進捗管理

◆まちづくり調査（隔年）

- アウトカム（効果）の検証

◆施策評価（中間年度・最終年度）

- 指標の達成状況の確認
- 社会経済情勢との整合性検証

第四次総合計画では、計画に位置付けた事業が予定どおり進んでいるかといった視点で管理してきた。

第五次総合計画では、事業の実施ありきではなく、「事業の進捗度」や「上位の目標に対する貢献度」、さらには「社会環境の変化」等を点検しながら、事業の見直しや入れ替え、施策の優先度の変更を行う。

6 行政による点検（内部視点）

施策の進捗状況の分析，今後の方向性の検証

- 指標の推移
- 主な事務事業の状況
- 取組の成果・課題
- 取組の集合体である施策の進捗状況
- 計画後半に向けた方向性

7 行革委員会の点検（外部視点）

市民目線あるいは専門的視点から、「行政による点検」の妥当性について点検

- 指標の達成状況について適切に分析しているか
- 社会経済情勢を踏まえた方向性を示しているか
- 市民にとって理解しやすいか

8 スケジュール

